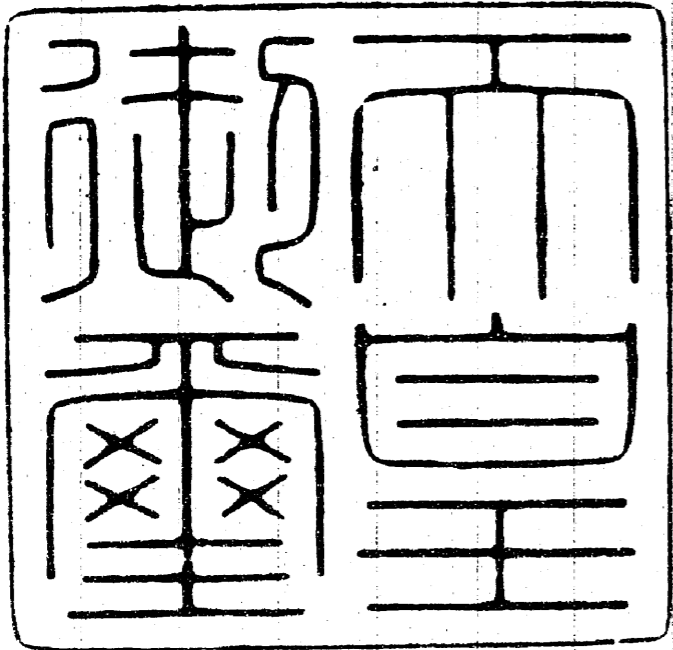


勅令第百六十八號

朕海軍豫備員候補者令外二
勅令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

裕仁



日
月

昭和十九年三月二十八日

内閣總理大臣

東條英機

海軍大臣

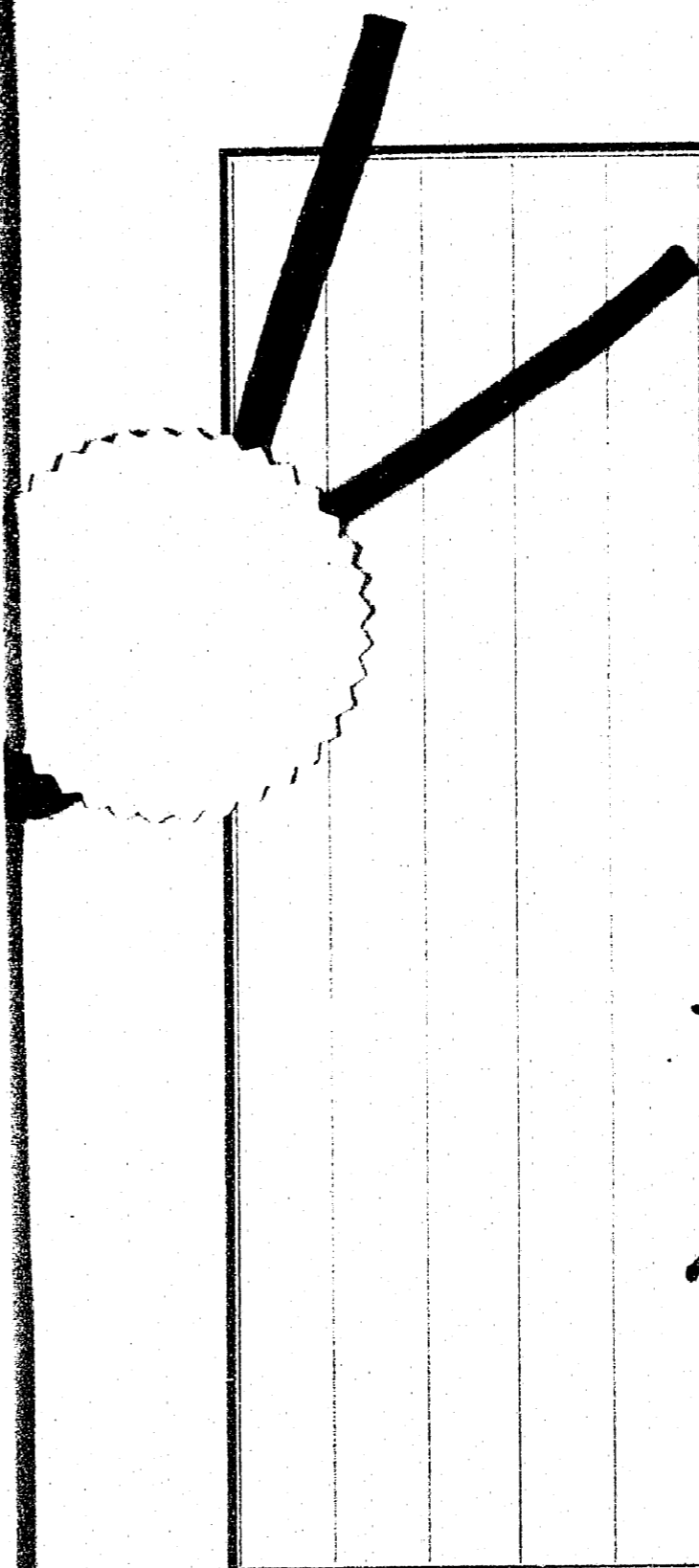
嶋田繁太郎

内務大臣

安藤紀三郎

運輸通信大臣

五島登之助



勅令第百六十八號

第一條 海軍豫備員候補者令中左ノ通改正ス

第四條第一項中「商船學校生徒」ノ下ニ「又ハ短期高等海員養成所生徒」ヲ、「入學」ノ下ニ「又ハ入所」ヲ加ヘ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ外海軍豫備員練習生ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ海軍豫備員タランコトヲ志願スルモノヨリ之ヲ採用シ其ノ採用ノ日ヨリ之ヲ海軍兵籍ニ編入ス

一 高等航空機乗員養成所生徒、地方航空機乗員養成所生徒、海軍電信講習所高等科若ハ普通科生徒又ハ朝鮮總督府交通局高等海員養成所生徒

PP

閣

二 法令ノ定ムル航空機ニ就スル免狀ヲ有スル者

三 中學校又ハ海軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認ムル學校ヲ卒業シタル者

第五條 海員養成所（昭和十八年逡信省令第四百十一號海員養成所規則ニ依ルモノ）生徒ハ其ノ入所ノ日ヨリ之ヲ海軍兵籍ニ編入シ海軍豫備補習生トス

前項ノ外海軍豫備補習生ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル年齢十六年以上二十年未満ノ者ニシテ海軍豫備員タランコトヲ志願スルモノヨリ之ヲ採用シ其ノ採用ノ日ヨリ之ヲ海軍兵籍ニ加入ス

一 無線電信講習所持科生徒

二 船員法ノ適用ヲ受クル船員トシテ一年以上ノ乗船履歴ヲ有スル者

三 海軍工作廳ニ技術従事者トシテ引續キ二年以上ノ勤務ノ經歷ヲ有スル者

四 一年以上潜水ニ就スル教育ヲ受ケ又ハ潜水作業ニ従事シタル經歷ヲ有スル者

第六條 海軍大臣ハ海軍豫備生徒ニ關シ第三條ニ掲グル學校又ハ講習所ノ校長又ハ所長ニ對シ必要ナル報告ヲ求ムルコトヲ得

鎮守府司令長官ハ第四條第一項若ハ第二項第一號ノ規定ニ依ル海軍豫備練習生又ハ前條第一項若ハ第二項第一號ノ規定ニ

内

閣

依ル海軍豫備補習生ニ關シ當該學校、養成所又ハ講習所ノ校長又ハ所長ニ對シ必要ナル報告ヲ求ムルコトヲ得
海軍大臣ハ海軍豫備生徒ニ關シ、鎮守府司令長官ハ海軍豫備補習生又ハ海軍豫備補習生ニ關シ航海訓練所長ニ對シ必要ナル報告ヲ求ムルコトヲ得

第二條 海軍現役武官高等航海學校等配令中左ノ通改正ス

第一條中「又ハ商船學校」ヲ「、商船學校、短期高等海員養成所又ハ海員養成所（昭和十八年遞信省令第四百十一號海員養成所規則ニ依ルモノ）」ニ、「及遞信大臣ノ管理スル海員養成所又ハ朝鮮總督府遞信局高等海員養成所」ヲ「、高等航空機乘員養成所、地方航空機乘員養成所、無線電信講習所又ハ朝鮮總督府

交通司高等海員養成所ニ於テ行フ海軍豫備員候補者タル生徒ニ對スル同候補者トシテ必要ナル教育及其ノ他ノ生徒ニ對スル教練ヲ掌ラシムル爲立ニ高等海員養成所、特別高等海員養成所又ハ普通海員養成所」ニ改ム

第三條 海軍大臣ハ現役將校ヲシテ第一條ニ掲ケル學校、講習所又ハ養成所ニ於ケル同條ニ規定スル教育又ハ教練ノ狀況ヲ査閲セシムルコトヲ得

第三條 海軍豫備員令中左ノ通改正ス

第九條第二號及第三號ヲ左ノ如ク改ム

二 兵曹長及機長兵曹長ニ在リテハ商船學校若ハ短期高等海員養成所卒業者又ハ海軍豫備補習生トシテ無線電信講習所

印

附

高等科若ハ朝鮮總督府交通局高等海員養成所ヲ卒業シタル者

三 上等兵曹ニ在リテハ海軍豫備練習生トシテ無線電信講習所普通科ヲ卒業シタル者

四 一等兵曹ニ在リテハ測量術、軍測術又ハ氣象術ニ精スル海軍豫備練習生教程ヲ修了シタル者

五 上等水兵、上等農機兵及上等工作兵ニ在リテハ海員養成所（昭和十八年海軍省令第四百四十一號海員養成所規則ニ依ルモノ）卒業者、海軍豫備練習生トシテ無線電信講習所持科ヲ卒業シタル者及海軍豫備練習主教程ヲ修了シタル者
第十條中第三號ヲ第四號トシ第四號ヲ第五號トシ第二號ヲ左ノ

如ク改ム

二 飛行兵曹長及終備兵曹長ニ在リテハ海軍豫備練習生トシテ高等航空機乗員養成所ヲ卒業シタル者

三 上等飛行兵曹及上等終備兵曹ニ在リテハ海軍豫備練習生トシテ地方航空機乗員養成所ヲ卒業シタル者

第三十七條 附則

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

海軍豫備練習生令第四條第一項ノ改正規定ハ昭和十九年十月一日以後ニ短期高等海員養成所ニ入所スル者ニ對シ、同令第五條第一項ノ改正規定ハ昭和二十年四月一日以後ニ海員養成所（昭和十

八年遞信省令第百四十一號海員養成所規則ニ依ルモノヲ謂フ以下
同ジニ入所スル者ニ對シ各之ヲ適用ス

短期高等海員養成所ノ生徒タル者ニシテ昭和十九年九月三十日以
前ノ入所ニ係ルモノ及海員養成所ノ生徒タル者ニシテ昭和二十年
三月三十一日以前ノ入所ニ係ルモノ海軍候補員タランコトヲ志願
スルトキハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ各之ヲ海軍候補練習生又ハ
海軍候補習生ニ採用シ其ノ採用ノ日ヨリ之ヲ海軍ノ兵籍ニ編入
スルコトヲ得

當分ノ内海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ本令施行前短期高等海員養成
所、航空機士養成所、航空機士養成所、無線電信講習所
高等科若ハ普通科又ハ朝鮮總督府在交連ニ在リ高等海員養成所ヲ卒業シタ

ル者海軍候補員タランコトヲ志願スルトキハ之ヲ海軍候補練習生
ニ採用シ本令施行前海員養成所又ハ無線電信講習所持科ヲ卒業シ
タル者海軍候補員タランコトヲ志願スルトキハ之ヲ海軍候補練習
生ニ採用シ各其ノ採用ノ日ヨリ之ヲ海軍ノ兵籍ニ編入スルコトヲ
得

當分ノ内海軍候補員候補者令第五條第二項第二號ニ規定スル乗船
履歴ニ係ル期間ニ關スル規定ハ之ヲ適用セズ同項第三號ニ規定ス
ル海軍工作總ニ於ケル勤務ノ經歷ハ同號ノ規定ニ拘ラズ一年以上
ナルヲ以テ足ルモノトス
海軍候補員令第九條第二號ノ改正規定中短期高等海員養成所卒業
者ニ屬スル部分ハ昭和十九年十月一日以後ニ當該養成所ニ入所ス

附
録

ル者及第三項ノ規定ニ依ル海軍豫備練習生トシテ當該養成所ヲ卒業シタル者ニ對シ、同令第九條第五號ノ改正規定中海員養成所卒業者ニ關スル部分ハ昭和二十年四月一日以後當該養成所ニ入所スル者及第三項ノ規定ニ依ル海軍豫備練習生トシテ當該養成所ヲ卒業シタル者ニ對シ各之ヲ適用ス

第四項ノ規定ニ依リ海軍豫備練習生又ハ海軍豫備練習生ニ採用セラレ其ノ改定ヲ了シタル者ハ海軍豫備員令第九條又ハ第十條ノ改正規定ニ準ジ各之ヲ海軍豫備員ニ任用又ハ採用スルコトヲ得